

都市を考えると はどういうことか？

日時: 2022年1月22日(土) 14:00~17:00

開催形式: オンライン (Zoom ウェビナーを使用)

事前申込制(定員100名) 社倫研Webページよりお申し込みください↓

講師: 仙波 希望

(広島文教大学人間科学部講師)

演題: 私たちは都市の理論を発明することができるだろうか
—— 『惑星都市理論』の背景と狙い

講師: 石川 良文

(南山大学社会倫理研究所第二種研究所員 / 総合政策学部教授)

演題: 都市政策の潮流と実際

討論者: 神崎 宣次

(南山大学社会倫理研究所第二種研究所員 / 国際教養学部教授)

司会: 奥田 太郎

(南山大学社会倫理研究所第一種研究所員 / 人文学部教授)



2020年代に差し掛かる頃より、ビッグデータとAIによる各種情報インフラの最適化、自動運転車の開発の進展、それに伴うMaaS (Mobility as a Service) による移動の利便性促進など、最先端技術に支えられたスマートシティ構想が推進されているが、そうした動きを支えるべき「都市の哲学」は、いわゆるELSI (Ethical, Legal and Social Issues: 倫理的・法的・社会的課題) の一系列としてしか扱われていないように思われる。イヴァン・イリイチによる「スピードに麻痺した想像力」への警鐘をも念頭に置き、都市を考えるとはどういうことなのかについて、多角的な視点からじっくりと考える必要があるだろう。今回の懇話会では、二人の都市研究の専門家をして、都市論を通じた社会的レジリエンスのあり方について参加者の皆さんと議論してみたい。